

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月3日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271500854
法人名	有限会社 やすらぎ
事業所名	グループホーム 九十九の里
所在地	〒859-6204 長崎県北松浦郡鹿町町下歌ヶ浦免802-8 (電話) 0956-73-2555

評価機関名	特定非営利活動法人ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成19年9月28日	評価確定日	平成19年10月16日

【情報提供票より】(H19年 8月 25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 2月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9人
職員数	7人 常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有( 円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 500 円		

### (4) 利用者の概要( 8月 25日現在)

利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	0名	要介護2	4名
要介護3	4名	要介護4	1名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 86.6歳	最低 74歳	最高 94歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	田中医院 鹿町歯科診療所 北松中央病院
---------	---------------------


## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームの近くには美しい北九十九島があり、近くの川には鯉が泳いでいる等、自然豊かな場所に立地している。また近くの小学校児童の登下校時の触れ合いもある。当ホームは法人が管理していた寮を改造して造られており、広い畳の座敷には落ち着ける雰囲気があり、エレベーターも完備され、車椅子の方も自由に1階から2階へと移動できるようになっている。管理者をはじめ職員も笑顔が絶えず、本当の家族のように接しておられ、入居者も思い思いの事をして穏やかに過ごされていた。業務日誌等は時間をかけないで簡潔且つ具体的に書かれており、入居者の生活を第一に考えられているホームである。また入居者も食器洗いからふき取りまで、自分の仕事として励まれ、自身の居場所を見出されている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価に対して改善計画シートを活用され、日常の記録などの改善点は全職員が付けやすくなったと納得の内容になるなど、前向きに取り組まれている。また全職員で月に1度の会議にて意見交換を行うなど、評価を活かした取り組みがなされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	当ホームは自己評価の結果を入居者の家族に説明し、同意書をいただくなど、自己評価の意義は理解されているが、日々の介護に追われ、内容を吟味した取り組みには到っていない。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は市町村関係者や入居者の家族などが集まり、2ヶ月に一度行われている。討議内容は当ホームの行実施報告や地域交流の件などが出されており、会議で出た意見に対して可能な限り対応されている。また議事録も質疑・応答形式で見やすい内容である。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の意見等は毎月お会いする度に尋ね、会議の議題などで取り上げるなどの対応が成されている。また必要に応じて電話連絡などの迅速な対応もなされている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	幾分か地域の中に入り、ホームの近くにある公民館の花の苗植えや、バス停にて地域の方と談笑するなど、地域住民の方とホーム側から積極的に交流し、関係が希薄にならないように努められている。

## 2. 評価結果 ( 詳細 )

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『明るく、楽しく、その人らしく、自分らしく』という基本理念を掲げられて、実践されておられる。だが、現時点では地域で暮らし続けるという点は盛り込まれておられず、今後地域密着型を意識した理念をつくりあげる予定である。		地域住民との交流を理念に盛り込むことで、より具体的に地域密着型としてのグループホームの働きがはっきりされる。そのことで入居者が地域の方と関係が切れないサービス内容が、職員間で共有されることに期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をリビング等に掲示し、日々の申し送りなどで共有しつつ、全職員で取り組まれている。また入居者に対する接し方や職員の心得なども掲示され、理念と共に実践に向けた取り組みがなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	幾分か地域の中に入り、ホームの近くにある公民館の花の苗植えや、バス停にて地域の方と談笑するなど、地域住民の方との交流に努められている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価に対して改善計画シートを活用され、全職員で月に1度の会議にて意見交換を行うなど、評価を活かした取り組みが成されている。自己評価に対しては、分析結果を入居者の家族に説明し同意書をいただくなど、自己評価の意義は理解されているようだが、日々の介護に追われ、内容を吟味した記載には到っていない。		自己評価を会議の議題として全職員で取り組まれ、その意義を共有されることで、更なるサービスの質の向上に活かされることに期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1度行われ、議事録を作成するのが大変との嬉しい声上がるほどに意見が活発である。また議事録も質疑・応答形式で分かり易くされており、参加者の意見を反映させた取り組みに努められている。		

グループホーム 九十九の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と積極的に行き来する機会を作り、情報交換もスムーズに行えるような交流が図られている。しかし社会的資源・情報の活用までには至っていない。		グループホームにできる可能性や利用できる社会的資源を確認され、活用されることに期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が毎月見える度に入居者の状況等の報告がなされている。また季刊誌を発行され、行事等で楽しまれている様子を紹介している。状態変化においてはすぐに電話で伝えるなど、個々にあわせた報告が成されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に家族から職員に対して積極的にお願い事をされておられ、当ホームの機能で出来る限り対応されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動がある場合でもアセスメントを3ヶ月に1度確認したり、また状態変化の折には随時見直しをすることで入居者に与えるダメージを最小限にする配慮がなされている。又、ボランティアから職員になられた方が2名おられ、入居者との馴染みの関係を活かした雇用体制であり、職員の定着率も高い。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	当ホームでは出来る限り研修には参加させる意欲があり、また研修を受けた者は必ずホーム内研修で全体に伝達を図るなどの取り組みが成されている		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は近隣のグループホームと親しく交流されており、入居者の接し方など、様々な情報交換がなされており、サービスの質の向上に取り組まれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者、家族が安心して利用していただくために入居される前に本人の今できる事や様々な相談事を家族に尋ね、無理なく馴染むように工夫されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者から学ぶことの大切さを理解され、介助しつつも様々な昔の人の知恵(風邪を引いたら金柑を煎じると良い等)を尋ねながら、共に支え合う関係を築かれている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常生活の中の入居者の会話や行動を通して、生活記録に記入することによって、思いや希望の把握に努められている。また入居者の家族にも話を聞き、その内容を毎月の会議で全職員が共有できるようにされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画に個別記録の介護記録で介護計画の反映を図り、日々の評価を通して定期的、または随時の見直しを関係者と共に話し合いされ、介護計画を作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>長期目標3ヶ月、短期目標1ヶ月とし、日々の暮らしの中で細かく分析され状態変化に応じて関係者と話し合い、状態に応じて見直しをされている。また実行されている介護計画に対して、次回の課題と目標をはっきりと認識されて取り組まれている。</p>		

グループホーム 九十九の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助やお墓参り、筋力維持の取り組みなど、事業所の多機能性を活かした取り組みが成されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の訪問診療が毎週行われ、またかかりつけ医の受診支援がなされているなど、適切な医療を受けられるように支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医との連携を活かし、重度化した場合などに対応する準備がある。また状態変化の前に入居者本人に希望を確認され、随時対応されており、現在、書類の準備も計画中である。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は地域の方が多く、入居者とも面識があるため、馴染みのある声掛けがなされているが、プライバシーを損ねる事のないように心がけられている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の暮らしのリズムを考えて朝起きる時間を各々に任せるなど、本人の希望に添って支援されている。		

グループホーム 九十九の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の味付けや配膳、食器ふきなど入居者と共に成され、食事と一緒に談笑されながら取られていた。また入居者に応じて梨をすり下ろしたり、個々の健康状態も考慮されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ホームの限られた環境の中で、出来る限り入居者の希望に応じて入浴やシャワーでの支援がなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の支度や洗濯物、趣味のドライブや縫い物など、個々の能力に応じた支援がなされており、もっと出来ることではないかと日々の暮らしの中で前向きに見出そうと努められている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	公民館の植木に水をやったり、近くに泳ぐ鯉の餌やりなど、外に出かける機会を設けられている。またドライブにおいても個々の状態に応じて距離を考えられるなどの支援が成されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかける弊害を全職員理解され、鍵は極力掛けないように職員の人数を揃えるなどで対応されている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年3回消防署の協力を得て、消防訓練を成され、消化の可能な状態を確認されている。また毎月避難訓練を実施されており、避難場所についても確認されている。		しかし火災に対する取り組みが中心で、その他の自然災害に対する意識が希薄であるため、今後は他の災害にも対応できるよう訓練されることが望まれる。また避難の手順や市町村並びにかかりつけ医に報告などの一連の動きを図式化されること、地域のさらなる協力体制を強化されることに期待したい。

グループホーム 九十九の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量はその都度確認され、生活記録等にも記録するなど、全職員が入居者の状態を把握できる工夫がなされ、入居者それぞれの方に配慮して支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳が敷き詰められた広い居間があり、各々が本を読んだり編み物したりと、思い思いの過ごし方を成されている。またソファ - の座る場所も入居者それぞれに決まっており、自分の居場所を見出されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が長年使われたであろう鏡台や家族のアルバムなど、入居者それぞれが落ち着いて過ごせるように様々な物が持ち込まれており、本人らしい居場所になっていた。		